

-古河公方公園- 公園だより



2022年6月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■どろんこクラブ、今年も元気に活動開始です！ 5/22(しろかき)、5/29(田植え)

■5/22(日)、ホッツケ田でお米作りを体験する「どろんこクラブ」で、田植え前の作業のひとつ「しろかき」を実施しました。はじめは田んぼの水におっかなびっくりだった子供たちも、最後の方では自ら泥に飛び込みながら作業を行っていました。途中、カエルやアメンボを見つけては追いかけているメンバーもいましたが、それがちょうどいい具合に土をほぐすことにもつながったようです。最後には土の塊もなくなって、田植えがしやすいトロトロな状態に生まれ変わりました。

●しろかきとは？

「しろかき」とは、田んぼに水をはって土を細かく砕き、表面を平らにならす作業のことです。土の状態を整えることで田植えをスムーズかつ確実にでき、苗の成長を助け、その後の管理をしやすくします。この工程が上手にできると土壌が改善され、雑草も少なくなり、稲が良く育つのです。



どろんこクラブの初仕事
いざ、田んぼの中へ！



カエルを追いかけることで
しろかきもできて一石二鳥！



ホッツケ田に
生息するカエル

カエルを捕まえて
おおはしゃぎのメンバー

■5/29(日)、いよいよ田植え本番です。しろかきでよくなされた田んぼに、メンバーが自宅で育てた苗を自分たちの手で植えました。暑い中、ずっと腰をかがめて行うつらい作業にもかかわらず、みんな元気いっぱい。目印の紐を使い、みんなで協力してあっという間に田植え終了です。はじめのうちは慣れない手つきで植えていましたが、最後にはみなまっすぐに、そして手早く植えることができました。元気に育ってくれるといいですね！

●泥に触れることで得られる効果

土や泥に触れることで、ストレス解消になる他、最近の研究によると、土の中の細菌に触れることで、体内の抗炎症作用が高まり、ストレスに強い体にもなるそうです。



植えた苗

暑い中、慣れない手つきでしたが
一本一本、丹精込めて植えました！

■アレチウリ駆除作業を実施しました。5/21

■5/21(土)、市民協働で、公園内に侵入した特定外来生物アレチウリの駆除作業を行いました。また、要注意外来生物のオオブタクサも一緒に駆除しました。市民のみなさん、ご協力ありがとうございました。



●引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください●

◎感染拡大防止のため、「三つの密」の回避等、基本的な感染症対策にご協力ください。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索